

定期作況報告

(平成 15 年 5 月 20 日現在)

北海道立天北農業試験場

I 気象概況

11 月 1 日から 5 月 20 日までの気象は以下のように推移した。

- 11 月：平均気温は上旬が 2.7℃（対平年値比-1.7℃、以下同様）、中旬が-0.4℃（-2.2℃）と平年より低かった。降水量は下旬が 81mm（150%）と平年より多かったが、その他は平年並であった。日照時間は上旬が 14.6 時間（55%）、下旬が 7.3 時間（44%）と平年より短かった。畑地温は上旬が 3.7℃（-1.9℃）と平年より低く、中旬は 2.7℃（-0.8℃）と平年よりやや低かった。
- 12 月：平均気温は下旬が-9.7℃（-5.1℃）と平年より低く、他も平年よりやや低かった。降水量は上旬が 10mm（23%）と平年より少なかった。日照時間は上旬が 26.5 時間（205%）と平年より長かったが、下旬は 12.1 時間（68%）と平年よりやや短かった。
- 1 月：平均気温は中旬が-8.6℃（-1.5℃）と平年より低かったが、下旬は-6.3℃（+1.2℃）と平年よりやや高かった。降水量は上旬が 27mm（75%）と平年より少なかったが、下旬は 37mm（137%）と平年よりやや多かった。日照時間は上旬が 24.9 時間（174%）と平年より長かった。
- 2 月：平均気温は中旬が-9.5℃（-2.3℃）、下旬が-10.2℃（-5.4℃）と平年より低かった。降水量は下旬が 0mm（0%）と平年より少なかった。日照時間はいずれの旬も平年より長く、特に下旬は 51.1 時間（159%）であった。
- 3 月：平均気温は中旬が-4.0℃（-1.5℃）と平年より低かったが、下旬が 0.7℃（+1.5℃）と平年より高かった。降水量は中旬が 5mm（31%）、下旬が 15mm（60%）と平年より少なかった。日照時間は上旬が 20.4 時間（46%）と平年より短かったが、中旬が 58.7 時間（130%）、下旬が 63.7 時間（131%）とそれぞれ平年よりやや長かった。
- 4 月：平均気温は中旬が 6.6℃（+3.0℃）と平年より高かった。降水量は中旬が 9mm（38%）と平年より少なかったが、下旬は 45mm（236%）と平年より多かった。日照時間はいずれの旬も平年並であった。
- 5 月：平均気温は上旬が 8.1℃（+1.2℃）、中旬 9.8℃（+0.9℃）と平年よりやや高かった。降水量は上旬が 12mm（50%）、中旬が 0mm（0%）と平年より少なかった。日照時間は平年並みであった。

本年の降雪始は平年より 2 日遅い 10 月 30 日であった。根雪始は平年より 16 日遅い 12 月 6 日であり、融雪期は平年より 1 日早い 4 月 14 日のため、積雪期間は平年より 17 日短い 129 日であった。

4 月からの主気象要素の積算値は、平均気温、降水量、日照時間、畑地温はともに平年並に推移している。

a. 季節表

項目 年次	降雪始 (月, 日)	根雪始 (月, 日)	融雪期 (月, 日)	降雪終 (月, 日)	積雪期間 (日)	耕鋤始 (月, 日)	晩霜 (月, 日)	初霜 (月, 日)	無霜期間 (日)
本年	14年10.30	14年12.6	15年 4.14	15年 4.30	129	15年4.24	15年5.10	—	—
平年	10.28	11.20	4.15	4.26	146	4.26	5.8	10.3	173
比較	2	16	△1	4	△17	△2	2	—	—

注) 降雪終、晩霜は5月20日現在。

B. 気象表

項目 月旬	平均気温(℃)			平均最高気温(℃)			平均最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hrs)			畑地温(10cm,℃)			最多 風向	平均風速 (m/s)
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較		
14年 上	2.7	4.4	△1.7	5.2	7.9	△2.7	0.5	0.7	△0.2	45	43	2	9	6	3	14.6	26.5	△11.9	3.7	5.6	△1.9	WSW	2.1
11月 中	-0.4	1.8	△2.2	2.1	4.5	△2.4	-3.5	-1.3	△2.2	36	35	1	8	7	1	15.5	19.9	△4.4	2.7	3.5	△0.8	WSW	2.1
下	-0.1	-0.3	0.2	2.0	2.3	△0.3	-2.9	-3.2	0.3	81	54	27	8	8	0	7.3	16.5	△9.2				W	2.0
12月 上	-3.5	-2.8	△0.7	-0.3	-0.5	0.2	-6.5	-5.4	△1.1	10	44	△34	4	8	△4	26.5	12.9	13.6				W	2.0
中	-5.5	-5.0	△0.5	-2.9	-2.4	△0.5	-9.0	-8.1	△0.9	24	30	△6	7	8	△1	16.4	16.6	△0.2				W	1.9
下	-9.7	-4.6	△5.1	-7.2	-2.0	△5.2	-13.1	-7.7	△5.4	34	28	6	9	8	1	12.1	17.7	△5.6				SSW	1.7
15年 上	-5.4	-5.7	0.3	-2.6	-3.1	0.5	-8.1	-8.8	0.7	27	36	△9	4	8	△4	24.9	14.3	10.6				WSW	2.3
1月 中	-8.6	-7.1	△1.5	-4.9	-4.4	△0.5	-12.8	-10.4	△2.4	22	24	△2	8	7	1	17.5	18.0	△0.5				SSW	1.8
下	-6.3	-7.5	1.2	-3.8	-4.3	0.5	-9.7	-11.2	1.5	37	27	10	5	8	△3	32.4	24.1	8.3				W	2.0
2月 上	-6.6	-7.6	1.0	-3.3	-4.3	1.0	-10.3	-11.4	1.1	13	16	△3	6	6	0	40.3	28.9	11.4				SSW	1.6
中	-9.5	-7.2	△2.3	-5.5	-3.8	△1.7	-14.1	-11.8	△2.3	18	18	0	6	7	△1	41.5	31.2	10.3				SSW	1.6
下	-10.2	-4.8	△5.4	-5.1	-1.4	△3.7	-16.1	-9.0	△7.1	0	13	△13	0	4	△4	51.1	32.1	19.0				SSW	1.4
3月 上	-4.4	-5.4	1.0	-2.4	-1.9	△0.5	-6.9	-10.0	3.1	24	15	9	5	5	0	20.4	44.5	△24.1				NNE	2.8
中	-4.0	-2.5	△1.5	0.3	0.5	△0.2	-9.2	-6.2	△3.0	5	16	△11	3	5	△2	58.7	45.1	13.6				SSW	1.7
下	0.7	-0.8	1.5	3.3	2.3	1.0	-2.4	-4.5	2.1	15	25	△10	3	5	△2	63.7	48.6	15.1				SW	2.0
4月 上	1.5	1.9	△0.4	5.7	5.1	0.6	-3.0	-1.5	△1.5	14	13	1	2	4	△2	57.2	55.7	1.5				SW	1.6
中	6.6	3.6	3.0	10.8	7.2	3.6	2.4	0.0	2.4	9	24	△15	3	5	△2	46.4	50.5	△4.1				SW	2.2
下	7.0	6.0	1.0	11.5	10.6	0.9	2.6	1.7	0.9	45	19	26	4	5	△1	53.0	54.0	△1.0	5.6	4.7	0.9	SW	2.1
5月 上	8.1	6.9	1.2	13.0	10.8	2.2	2.5	3.1	△0.6	12	24	△12	4	4	0	60.4	52.8	7.6	6.2	6.6	△0.4	SW	2.3
中	9.8	8.9	0.9	14.9	13.0	1.9	4.6	4.8	△0.2	0	16	△16	0	3	△3	53.4	51.7	1.7	8.0	8.3	△0.3	SSW	1.8

注1) 平年値は前10か年の平均値により天北農試で作成。
2) 降水量、降水日数、日照時間の3旬平均欄は3旬の合計値
3) 平均畑地温は天北農試のデータ、その他の観測値は浜頓別7メタスのデータ。
4) △印は対平年値減を示す

C. 主要気象要素積算値（4月21日～5月20日現在）

	平均気温 (℃)	降水量 (mm)	日照時間 (hrs)	畑地温 (℃)
本年	249	57	166.8	198
平年	218	59	158.5	196
比較	31	△ 2	8.3	2

Ⅱ 作 況

1. 牧 草

1) チモシー採草型 (2年目草地)

1 番草作況：やや良

事 由：萌芽はやや遅かったが、冬損もなく、5月20日現在の草丈はやや高い。現在の作況はやや良である。

調査項目

萌芽期 (月・日)			冬損程度 (1無・微～9甚)			5月20日草丈 (cm)			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
4.20	4.15	5	1.0	1.0	0	38.9	34.6	4.3	112

注 平年は前年の値である。

2) ペレニアルライグラス放牧型(2年目草地)

1 番草 作況：やや不良

事 由：平年に比べ、萌芽期が4日遅く、冬損もやや大きかった。1 番草収穫時の草丈はやや低く、乾物収量は平年比89であったが、前年度が平年を大きく上回った作柄であったことを考慮し、作況はやや不良と判断した。

調査項目

萌芽期			冬損程度			1 番 草						
(月・日)			(1 無・微～ 9 甚)			収穫期(月・日)			草 丈(cm)			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
4.22	4.18	4	3.0	2.0	1.0	5.20	5.20	0	25.0	28.1	△3.1	89

注 平年は前年の値である。

1 番草収量と乾物率

生草収量(kg/10a)			乾物率(%)			乾物収量(kg/10a)			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
309	327	△ 18	24.2	25.1	△0.9	74.8	83.7	△8.9	89

注 平年は前年の値である。

Ⅲ 作況調査耕種概要

1. 牧草

1) 供試草種・品種および播種量

草 地	草種名	品種名	播種量 (g/10a)
採草型	チモシー	ノサップ	1,500
放牧型	ペレニアルライグラス	ポコロ	2,000

2) 調査法

①施肥量 (kg/10a)

	N	P 2 O 5	K 2 O	炭カル	ﾀﾞﾌﾞﾘﾝ	堆肥
1 年目	4	20	6	250	28.5	5000
刈取り後は2年目と同様な施肥を行う。						
2 年目	15	6	15			
(内訳) 採草型：春、1・2 番草刈取り後均等分施肥。 放牧型：春、1～5 番草刈取り後均等分施肥。						

②播種日：6 月

③播種法、供試面積、反復数（採草型・放牧型とも）

条播（畦幅 30cm）、1 区面積 5.4m²（30cm*450cm*4 畦） 4 反復

④調査対象：2 年目草地

⑤刈取り：採草型 3 回 放牧型 6 回（5 月から10月まで毎月20日）

Ⅳ 作況報告対象草種等の変更について

平成14年度まで、散播・混播による採草型2タイプ(TY・RC、OG・RC)、放牧型2タイプ(OG・WC、PR・WC)の作況報告をしていましたが、平成15年度から条播・単播による採草型(TY)、放牧型(PR)それぞれ1タイプに変更しました。

なお、2草種については13年度の造成より調査を開始しており、今年度の平年値には14年度の値のみを参考値として記載しています。